

鶴岡市子ども読書活動推進計画

令和7年度第1回推進委員会 会議資料

令和7年7月24日

- ・鶴岡市子ども読書活動推進計画の背景 【資料1】
- ・第2次計画取り組みの実施状況について 【資料2】
- ・数値目標状況について 【資料3】
- ・第3次計画策定スケジュールについて 【資料4】
- ・第3次計画内容について 【資料5】

- (1) 根拠法令「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）
第9条第2項・子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画を策定するよう努めなければならない。
- (2) 国の動き
平成14年度より第一次計画が始まり、現在第五次計画が進行中。（令和5年度～おおむね5年間）
【第五次計画基本的方針】①不読率の低減 ②多様な子どもたちの読書機会の確保 ③デジタル社会に対応した読書環境の整備 ④子どもの視点に立った読書活動の推進
- (3) 県の動き
平成18年度より第一次計画が始まり、現在第四次計画が進行中。
※国の第五次基本計画の策定内容を踏まえるため、おおむね5年とする第三次計画期間を計7年に延長し、令和6年3月に第四次計画を策定（令和6年度～おおむね5年間）
【第四次計画における取組みの重点】
◎子どもの意見を取組みに反映させることによる、多様な子どもの読書への関心の向上
◎デジタル社会に対応した多様な読書活動の普及と読書環境の整備
◎子どもの教育に携わる全ての大人（保護者・教員・読書活動関係者等）に対する子どもの読書活動の重要性や意義の理解促進
- (4) 鶴岡市の動き
◇第一次計画 平成27年（2015）3月策定：平成27年4月1日施行
◇第二次計画 令和2年（2020）3月策定：令和2年4月1日施行→子どもの成長に合わせた読書推進の取り組みをまとめた。
県の第四次計画を踏まえるとともに、新図書館整備事業との連携も図るため1年計画期間を延長。（令和6年度推進委員会にて協議済み。）

第2次計画概要

◆目的

子どもたちの読書への親しみと、
読書を通じた心豊かで健やかな成長を図る

◆対象

0歳から18歳まで
読書活動の推進については、大人を含むすべての市民を対象とする

◆目指す子どもの読書活動の姿

～読書の面白さ、大切さを知り、自ら本に親しむ子ども～

- 子どもの年代ごとに成長に合わせた読書のあり方とその周りの大人の関わり方
- 子どもの年代ごとの読書活動の推進のための具体的な取り組み
- 大人の読書奨励とのつながり
- 平成30年実施子ども読書アンケート結果と分析

◆基本方針

3つの柱

子どもの近くに本がある暮らし

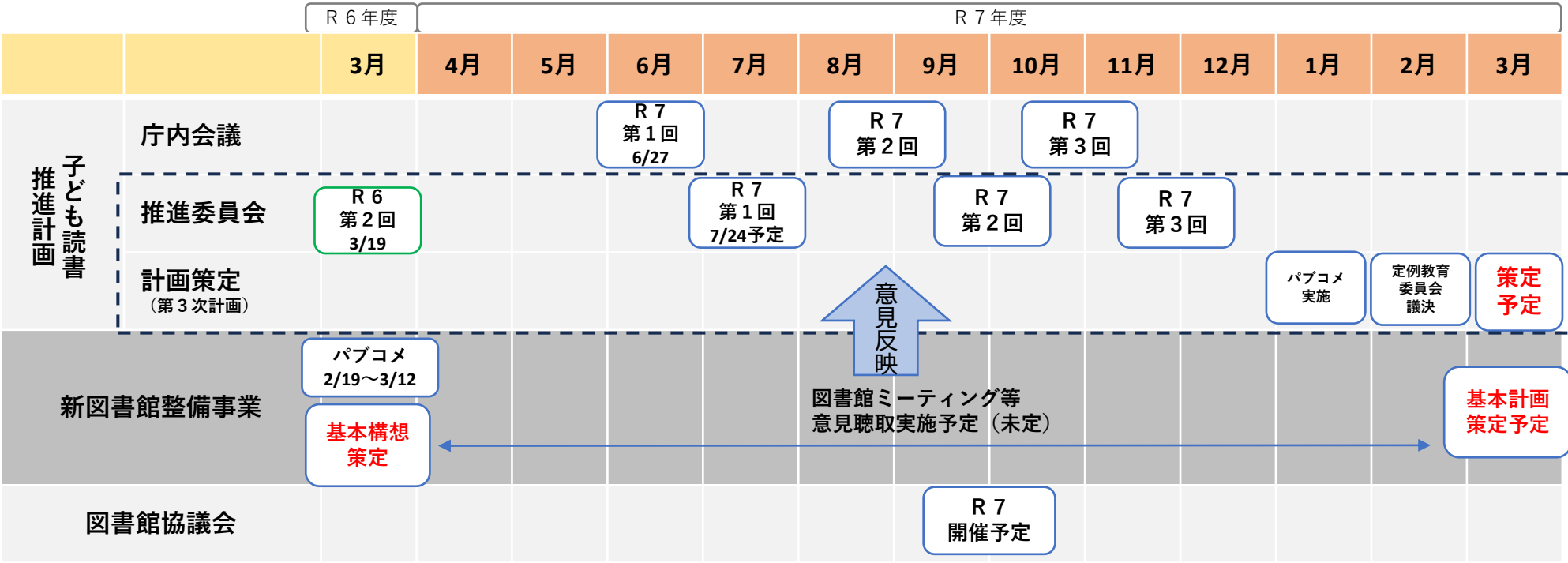
子どもの近くに
本の渡し手がいる暮らし

子どもの近くに読書活動を
見守る人がいる暮らし

- ★新型コロナウイルス感染拡大によって中止または縮小された取組の再開の検討
- ★子どもを取り巻く環境に対応した新たな取組の検討

		第 1 次 計 画		第 2 次 計 画									
目標項目		H 2 5 実績	H 3 0 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	策定時最終目標				
① 児童図書の蔵書冊数 [市立図書館] (15歳以下1人あたり)		約85,000冊 4.3冊 達成率 53.8%	→ 6.4冊	約102,000冊 7.6冊	7.6冊	7.6冊	8.1冊	約108,500冊 8.6冊 達成率 108%	児童書蔵書冊数の推移 8冊以上				
② 児童図書の貸出年間冊数 [市立図書館] (15歳以下1人あたり)		9.1冊 達成率 65%	10.3冊	9.8冊	11.7冊	12.3冊	12.0冊	11.7冊 達成率 84%	14冊以上				
③ 学校への団体貸出年間冊数 [市立図書館] (1学級あたり)		9.8冊 達成率 65.3%	11.6冊	12.7冊	12.2冊	12.0冊	10.8冊	12.0冊 達成率 80%	15冊以上				
④ 保育園・幼稚園への 団体貸出年間冊数 [市立図書館] (入園者1人あたり)		1.1冊 達成率 27.5%	2.5冊	3.0冊	3.4冊	3.4冊	3.0冊	3.0冊 達成率 75%	4冊以上				
⑤ ブックスタート事業による効果 「ブックスタートで絵本をもらったことが、読み聞かせをするきっかけになった」		59%		対象：市内幼児施設 ・1歳児保護者466人 349人回答(回答率:74.8%) ・3歳児保護者618人 412人回答(回答率:66.6%)		今年度調査 実施予定 1歳児・3歳児 の保護者対象		70%					
⑥ 子どもの不読率 (1か月に一冊も本を読まない)		この数値は、 学校でも家でも 1ヶ月に全く読んでいない割合		全国の結果 「学校読書調査」(公益社団法人全国学校図書館協議会)参照					国の第4次計画の 目標数値 小学生 2%以下 中学生 8%以下 高校生 26%以下				
		小学生 6.8% 中学生 12.5% 高校生 55.3%		調査中止		小学生 5.5% 中学生 10.1% 高校生 49.8%		小学生 6.4% 中学生 18.6% 高校生 51.1%		小学生 7.0% 中学生 13.1% 高校生 43.5%		小学生 8.5% 中学生 23.4% 高校生 48.3%	

- 1. 計画策定期限：2026年3月策定（2026年4月施行）
- 2. 計画期間：2026年度～2030年度（おおむね5年間）
- 3. 計画策定組織：推進委員会、庁内会議
- 4. 計画策定スケジュール（案）
新図書館整備事業等の動きと連動し、基本構想を踏まえながら本計画の第三次計画策定に向けて取り組む。



推進委員会開催時期	主な議題
令和 6 年度第 2 回 3 月 1 9 日（実施済）	(1)読書に関するアンケートの実施結果について (2)第 3 次計画の内容について
令和 7 年度第 1 回 7 月 2 4 日 予定	(1)第 2 次計画の進捗状況について（令和 6 年度） (2)第 3 次計画期間における取組事業について(検討) (3)第 3 次計画の全体構成(骨子～素案)について
令和 7 年度第 2 回 9 ～ 1 0 月 予定	第 3 次計画について(素案)
令和 7 年度第 3 回 1 1 ～ 1 2 月 予定	(1)第 3 次計画について（素案） (2)パブリックコメントの実施について

1. 前回推進委員会で挙げた主な意見

- ・ 小中学生はまず学校図書館で読む習慣づけを
- ・ 利用していない人が利用したくなる図書館づくりをしていく
- ・ 子どもだけでは図書館に来ることが難しい、親の興味をひく取り組みが必要
- ・ 電子書籍の活用、導入の検討をしていく必要性がある
- ・ ネットで情報を得ることと、図書館で書籍から得ることのすみ分けが必要
- ・ 子育て世代への情報発信（子育てアプリの活用等）
- ・ 次期計画は日常的に活用してもらえるものにしたい（実践例を掲載する）

※その他
アンケート結果（別紙1）

2. 第三次計画で注目すべき点

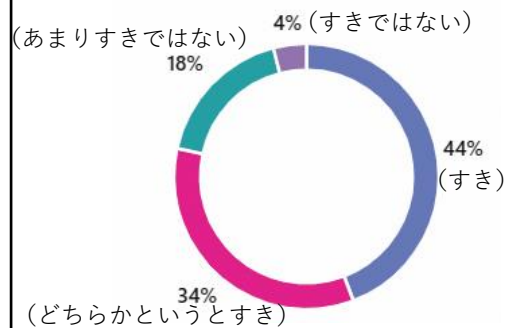
- ・ 学校での読書についての調査（朝読書の実施、学校図書館での貸出冊数等）
- ・ 授業での学校図書館・市立図書館の積極的な活用を推進
- ・ デジタル社会への対応
- ・ 特別支援学級、特別支援学校の取り組み（第二次計画まで掲載なし）
- ・ 子どもに関わる様々な部署間での連携したアプローチ（大人への発信も重要）
- ・ 各幼児施設・学校より図書館の運営や読書推進のための取り組みを紹介
→第三次計画に何校か抜粋して掲載

令和6年度実施アンケート結果(一部抜粋)

小学生

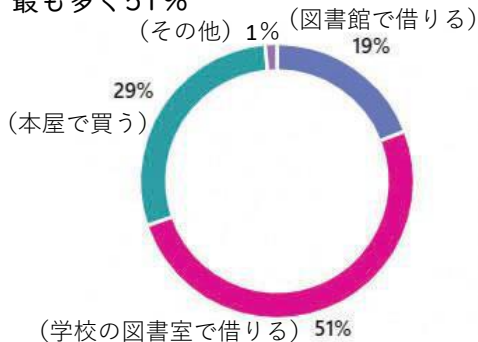
Q.あなたは本をよむのが好きですか？

「好き」または「どちらかというとき」→約8割



Q.あなたはよみたい本があったらどうしますか？

「学校の図書室で借りる」が最も多く51%

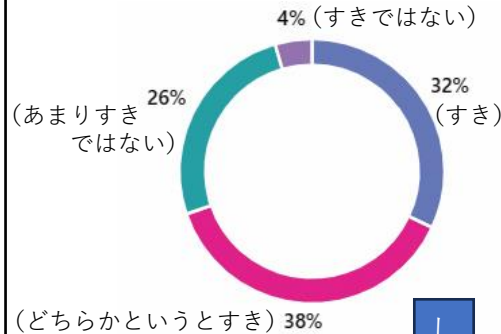


学校図書館のさらなる充実が大切

小学生保護者

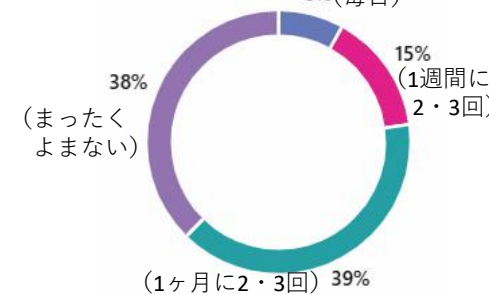
Q.あなたは本をよむのが好きですか？

「好き」または「どちらかというとき」→7割



Q.あなたはどのくらい本を読みますか？

「1カ月に2・3回」または「まったくよまない」という回答が約8割



少しの時間でも本を手にする機会を作ってもらおう働きかけ

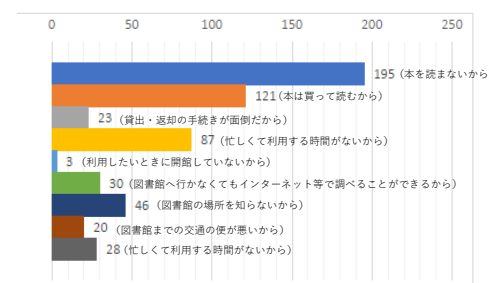
中学生

Q.過去1年間に図書館を利用しましたか？

「利用した」が34%、「利用しなかった」が半数以上の66%



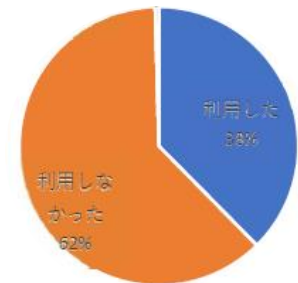
Q.「利用しなかった」理由は何か？

最も多いのは「本を読まないから」195人
その他「場所を知らないから」が46人学校図書館利用の習慣づけ
市立図書館も活用しながら本を身近に

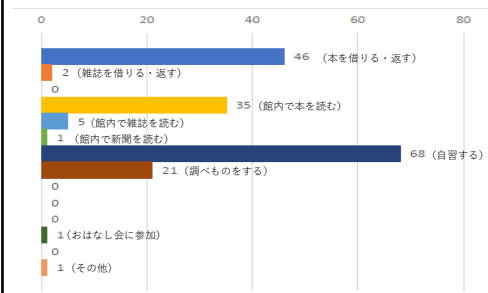
高校生

Q.過去1年間に図書館を利用しましたか？

「利用した」が約4割、「利用しなかった」が約6割



Q.図書館を利用する主な目的は何か？

最も多いのは「自習する」で68人
次いで「本を借りる・返す」が多い自習利用の高校生が多数
読書を気分転換の手段の一つに